

CASBEE® 名古屋

■使用評価マニュアル: CASBEE-運用(第2019年版、名古屋市長官公署環境政策推進部マニュアル2019)

使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 中区栄5丁目計画	階数	地上15F
建設地	名古屋市中区栄五丁目2502番1、2502番2、2502番3、2503番1、2503番2、2526番1、2526番2、2526番3	構造	RC造
用途地域	商業地域、特定用途誘導地区、準防火地域、緑化地域、駐車場整備地区、都市機能誘導区域内、居住誘導区域内	平均居住人員	144 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2021年1月12日
敷地面積	471 m ²	作成者	
建築面積	256 m ²	確認日	2021年2月12日
延床面積	2,955 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
= BEE1.3 ★:S:★★★★★ A:★★★★★ B+:★★★★ B:★★★ C 標準計算 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです	☆☆☆ 100%超 ☆☆☆ 100% ☆☆☆ 80% ☆☆☆ 60% ☆☆☆ 30% 46 (kg-CO₂/年・m²)	Q2 サービス性能 5 Q1 室内環境 3 Q3 室外環境(敷地内) 2 LR1 エネルギー 3 LR2 資源・マテリアル 3 LR3 敷地外環境 3

2-4 中項目の評価(バーチャート)	Q のスコア = 3.0		
Q 環境品質	Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
	Q1のスコア= 3.1	Q2のスコア= 3.0	Q3のスコア= 3.0
LR 環境負荷低減性	LR のスコア = 3.4		
	LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
	LR1のスコア= 4.0	LR2のスコア= 3.0	LR3のスコア= 3.0

3 設計上の配慮事項	総合		その他
	省エネルギー(断熱性能ガラス採用)により環境に配慮した。		
Q1 室内環境	開口部を大きく取り十分な採光を確保した。	Q2 サービス性能	住戸の階高を2.86m以上とし空間にゆとりを持たせた。
Q3 室外環境(敷地内)	周辺環境に配慮した場所に駐車場を確保した。		
LR1 エネルギー	共用部分の照明器具にLEDを使用し消費電力を抑えた。	LR2 資源・マテリアル	節水型便座や水洗を採用した。
LR3 敷地外環境	駐車、ミニバイク、駐輪スペースを敷地内に確保した。		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修・解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

(仮称)中区栄5丁目計画

■使用評価マニュアル:

CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル:

■評価ソフト:

CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.7
LR1	エネルギー	4.0	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	3.0	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.05	
2. 自然共生				3.1
Q3.1	生物環境の保全と創出	3.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	有	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	3.0	0.045	
3. 循環型社会				3.1
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	3.0	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.7



2. 自然共生

評価点 = 3.1



3. 循環型社会

評価点 = 3.1



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。